

なんと
南砺市

井波

いなみ

散策
MAP

古いまちなみが残る日本一の木彫りのまち

井波は、散居村で名高い砺波平野の南端に位置し、八乙女山の山麓に抱かれた薫り高い歴史と文化が息づくまち。

一三九〇年(明徳元年)、本願寺五代門主綽如上人が

この地に瑞泉寺を建立したことに始まり、

以来、井波は瑞泉寺の門前町として栄えてきました。



C-2 八日町通り(石畳通り)

まちの中心を貫く石畳の八日町通りには、彫刻工房が軒を連ね、心地よい木槌の音が聞こえてきます。木彫りのバス標識や表札、看板などからは、木彫りの里・井波らしさが感じられます。

B-1 閑乗寺公園

展望台からは日本の原風景散居村を望むことができ、四季を通して親しまれています。特に夕日が水田の水面に映える光景は旅情をそそります。

TEL.0763-82-2565 ※大型車輛通行可

A-2 井波彫刻総合会館

井波別院瑞泉寺の伽藍配置をモデルにした館内には、欄間や獅子頭、天神様をはじめ、現代彫刻・工芸作品など、250余年の伝統を誇る井波彫刻の粋を集めた作品が約200点展示されています。荒彫りから仕上げまで200本以上のノミ・彫刻刀を使うという伝統の技、秀作を鑑賞できます。

TEL.0763-82-5158
【営業時間】9:00~17:00
【定休日】第2・4水曜(年末年始)
(祝祭日の場合は翌日)
【料金】大人 500円
小中学生 250円
(団体25名以上:大人 400円
小中学生 200円)

よいやさまつり

【毎年5月2日(前夜祭)・3日(本祭)】

天保4年(1833)に商売繁盛・家内安全を祈願する神事として始まった。大人が担ぐ神輿は3種類あり、子ども神輿と合わせて6台の神輿が町内を練り歩き、3町内の獅子と4町内の屋体とともに町内を賑わせます。担ぎ手が約10kmを巡行する様、そして井波彫刻の技が光る獅子頭も見どころです。



太子伝会&太子伝観光祭

【毎年7月21日~29日
(太子伝観光祭は7月下旬)】

1710年頃に始まったといわれる、井波別院瑞泉寺の伝統行事「太子伝会」。掛け軸の絵をもとに聖徳太子の一生を語る絵解きや、聖徳太子二歳像のご開扉などが行われます。この太子伝会に合わせて太子伝観光祭も開催。ノミを使って作品を仕上げる氷の彫刻や、踊り町流しなど多彩なイベントでにぎわいます。

お問い合わせ

井波交通広場観光案内所

〒932-0231 富山県南砺市山見956-1 交通広場内
TEL (0763) 82-2539 FAX (0763) 82-2839

一般社団法人 南砺市観光協会

〒939-1852 富山県南砺市是安206-22
TEL (0763) 62-1201 FAX (0763) 62-1202

HP <https://tabi-nanto.jp>



※2023年4月現在の情報です。



D-1 真宗大谷派 井波別院 瑞泉寺

明徳元年(1390年)、本願寺5代綽如上人によって開かれた寺院。北陸地方の真宗木造建築の寺院としては最も大きな建物です。なかでも、山門正面の精緻な彫刻が見どころ。その多くは井波大工の力作で、井波彫刻の基となったものです。

TEL.0763-82-0004 【営業時間】9:00~16:30
【定休日】無休
【料金】大人500円(団体20名以上:大人450円)
中学生以下無料



A-2 道の駅井波 いなみ木彫りの里創造館

木彫刻のまち井波で井波彫刻の魅力を見て触れて実感できる道の駅。ぐい呑みなどの彫刻体験ができる「くりえ〜と工房」やレストランでは井波彫刻「八乙女風神太鼓」イメージした「風神10段ソフトクリーム」(200円)やインパクト大の爆盛シリーズが大人気です。中でも全長約40センチのジャンボエビフライ定食はおすすめです。

TEL.0763-82-5757
【営業時間】特産品コーナー 9:00~17:00 くりえ〜と工房 10:00~17:00(要予約)
レストラン 11:00~15:00(LO 14:30)
【定休日】第2・4水曜(年末年始) ※くりえ〜と工房は日曜のみ営業



C-2 池波正太郎ふれあい館

「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛け人 藤枝梅安」などの人気時代小説を執筆した池波正太郎氏は、井波を「父祖の地」として、親しみと愛着を持って度々訪れました。館内には井波の人達との交流の深さを示す書簡や自筆絵画、色紙、写真等をはじめ、著書本や池波正太郎氏愛用の品々を展示しています。(よいとこ井波併設)

TEL.0763-82-5666
【営業時間】10:00~17:00
【定休日】不定休 【料金】無料



道の駅井波 いなみ木彫りの里創造館

木彫刻のまち井波で井波彫刻の魅力を見て触れて実感できる道の駅。ぐい呑みなどの彫刻体験ができる「くりえ〜と工房」やレストランでは井波彫刻「八乙女風神太鼓」イメージした「風神10段ソフトクリーム」(200円)やインパクト大の爆盛シリーズが大人気です。中でも全長約40センチのジャンボエビフライ定食はおすすめです。

TEL.0763-82-5757
【営業時間】特産品コーナー 9:00~17:00 くりえ〜と工房 10:00~17:00(要予約)
レストラン 11:00~15:00(LO 14:30)
【定休日】第2・4水曜(年末年始) ※くりえ〜と工房は日曜のみ営業



C-2 白浪水

綽如上人が京都へ向かう途中、乗っていた馬の足かきによって湧き出たと言われる霊泉。「井波」という地名や瑞泉寺の発祥の地とされ、天保年間には小庵と庭園も築かれ歴史ある風情を醸し出しており、黒髪庵とともに俳句などにもよく詠まれています。

B-2 大門川河川公園

4年に1度の国際彫刻キャンプで世界の彫刻家によって製作された作品が立ち並ぶ憩いの公園。公園から下流に行くと、川沿いには桜並木があり、開花時期にはライトアップされ、美しい夜桜も楽しむことができます。



A-3 庄川峡

小牧ダムを中心とする庄川峡は、春は桜、夏は緑あふれる山々、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の姿に心奪われます。湖上遊覧船で往復すれば、湖面から見る山々の美しさに身も心も癒されます。

TEL.0763-82-0220
【定休日】無休
【料金】定期航路往復: 大人2,800円
小人1,400円
ショートクルーズ(要予約): 大人1,200円
小人 600円
※個人の方は予約不要 (団体割引あり)



D-2 黒髪庵

浄蓮寺境内にそとたたずむ翁塚と黒髪庵。芭蕉の門弟だった瑞泉寺11代の浪化上人が、芭蕉の墓から小石3個を持ち帰り、浄蓮寺の境内に塚を建てました。その後、芭蕉の遺髪も納められたといいます。黒髪庵は越中の俳人数百名の寄進によって建てられました。



C-1 井波八幡宮

境内は井波城本丸跡に建てられ、井波城跡の石垣などが多く残っており当時の城塞が偲ばれます。本殿西側には文久元年(1861)に地元の蚕業者達が蚕の霊をとらうために建立した総ケヤキ造りの蚕堂があり、その当時の地場産業の歴史的背景と井波堂塔建築の技を垣間見ることができる貴重な遺構です。



F-4 越中一宮 高瀬神社

福の神であり、緑むすび・家内安全・医療医薬・農耕の神として崇められている大国主命(おおくにぬしのみこと)を主神に、無病息災や延命長寿の神・天活玉命(あめのいくたまのみこと)と、産業の神・五十猛命(いそたけるのみこと)が祀られており、鎮座二千年と伝えられており古くから人々に信仰されています。

TEL.0763-82-0932

